



がんばる 青年部

常勤役員と意見交換 手を取り合い、更に活発な活動へ

花巻地域青年部は2月16日、農協野田神社「洗心館」(花巻市野田)でJA常勤役員との懇談会を開きました。

盟友18人とJA役職員合わせて約30人が出席し、伊藤邦彦委員長は「役員と話し合える貴重な機会。積極的に発言して実りある懇談会にしよう」とあいさつしました。意見交換に先立ち、職員が自己改革を踏まえた第3次中期経営計画の進捗状況をまとめた報告書を基にJAの取り組み内容を説明。JA



意見を述べる伊藤委員長(右)

の事業運営、農業経営、青年部活動の3項目で意見交換し、盟友たちは青年部活動への職員の更なる参加を

要望しました。JAが進める米集荷200万袋運動については、実需に見合った生産や、価格・数量・品種を数年間設



活発な意見交換が成され、有意義な懇談会となりました

定した複数年契約栽培を進めていく事を説明。盟友数の増加に関する質問では、高橋勉副組合長は「まずは楽しい、面白いと思える活動をみんなでやってほしい。それが充実した活動や仲間作りに繋がる」と答えました。

阿部勝昭組合長は「資材や人材、知識を結集して素晴らしい活動に繋げてほしい。活動の活性化をJAは応援していく」と呼びかけました。

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAの組合員って何をすればいいの?

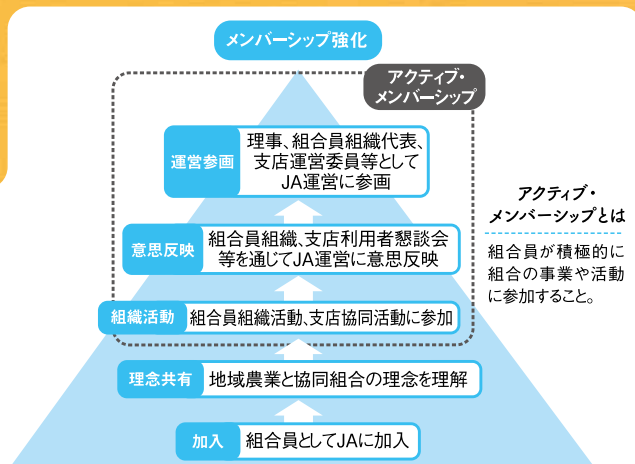
A JAの事業と活動に積極的に関わり、元気なJAを築くことが大切です。

JAは願い(課題やニーズ)を共有する組合員が集まって、組合員自らが事業と活動を通じて願いをかなえることを目的とする協同組合であり、組合員がJAの主人公です。

また、JAの主人公である組合員は、みんなで話し合っ て決めたことを実行し、組合員組織に参加して活動を活 発化するなど、組合員相互の発展のために重要な役割 を担っています。組合員はJAの運営に積極的に関わる とともに、仲間づくりに努め協同の輪を広げましょう。

JAグループでは第27回JA全国大会でアクティブ・メンバ ーシップの運動を決議しました。組合員が元気な主人 公となることで、より元気なJAを築きましょう。

(監修=広島大学 助教 小林元)



組合員の役割

みんなで決めたことを実行する。

組合員組織に参加し活動を活発化する。

JAの運営についてすすんで発言し、建設的な提言をする。



組合員

家族ぐるみでJA事業を利用する。

仲間づくりに努め、協同の輪を広げる。



耕そう、大地と地域の未来。